

# 施策評価シート（平成26年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-2	政策名	学校教育の充実	政策の 目指す姿	夢と希望を持ち、たくましくいきいきと育っています	施策 主管課	小中学校課	施策主管 課長名	菅野 広紀
	施策No.	2		豊かな人間性の育成	施策の 目指す姿	児童生徒が、郷土を誇りとし、自己肯定感や思いやりの気持ちを持っています	関係課名			
	現状と課題	・多くの人と触れ合う機会の減少や自然体験・社会体験の不足により、協調性・責任感・規範意識などが低下している現状から、人間としてのよりよい生き方について自覚を深め実践する児童生徒を育成する必要があります。								

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1)豊かな人間性の育成 <input type="checkbox"/> 国際理解教育の推進 ・小学校および中学校へ英語指導助手を派遣。 <input type="checkbox"/> 道徳教育の充実 ・復興教育学校支援事業 <input type="checkbox"/> 地域体験学習の充実 ・地域の風土・資源・伝統・人材を活用した体験的な学習を支援 <input type="checkbox"/> 地域と連携したキャリア教育の推進 <input type="checkbox"/> 生徒会におけるボランティア活動に対する支援 <input type="checkbox"/> 芸術文化活動の推進 ・花巻市中学校文化連盟事業補助 <input type="checkbox"/> 児童生徒表彰 ・体育・文化等の活動において顕著な成果を収めた児童生徒を表彰
--

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
自己肯定感を持った児童生徒の割合	岩手県学習定着度状況調査では、質問紙調査を併せて実施しており、設問内容は自己肯定感を測る指標として適当	質問に対して肯定的に回答した児童及び生徒の割合で測る。(小4, 5年の値の和を求め、2で割る。中1, 2の値の和を求め、2で割る)	%	目標値				小77.0 中66.0	小78.5 中68.0	小80.0 中70.0
				実績値	小73.5 中68.3	小71.7 中64.8	小75.5 中64.5	小78.0 中66.5		
親切・思いやりの心を持った児童生徒の割合	岩手県学習定着度状況調査では、質問紙調査を併せて実施しており、設問内容は親切・思いやりの心を持っているかを測る指標として適当	質問に対して肯定的に回答した児童及び生徒の割合で測る。(小4, 5年の値の和を求め、2で割る。中1, 2の値の和を求め、2で割る)	%	目標値				小95.0 中91.5	小95.5 中92.0	小96.0 中92.5
				実績値	小85.7 中86.0	小86.0 中86.0	小94.5 中91.0	小97.0 中92.0		
				目標値						
				実績値						

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>■成果指標「自己肯定感を持った児童生徒の割合」・・・【達成度 小学校a 中学校a】            小学校では、コミュニケーション能力の素地を養う「外国語活動」において、国際化教育推進事業の活用が図られ、友達とのかわりを大切にした指導の成果が現れていると考える。また中学校では、生徒会ボランティア活動支援事業の成果が現れていると考える。</p> <p>■成果指標「親切・思いやりの心を持った児童生徒の割合」・・・【達成度 小学校a 中学校a】            復興教育学校支援事業の成果が現れていると考える。</p>

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	児童・生徒表彰事業	小中学校課	B	A
	体育・文化等の活動において顕著な成果を収めた児童生徒を表彰 (受賞者数:496人)			
2	生徒会ボランティア活動支援事業	小中学校課	A	B
	ボランティア活動を行う各中学校生徒会への活動支援(活動数:39)			
3	復興教育学校支援事業	小中学校課	A	A
	心のサポート授業の実施(1校あたり1回) 働く方々によるキャリア教育授業の実施回数(1校あたり12回)			
4	小学校地域体験型学習事業	小中学校課	B	B
	地域の風土・資源・伝統・人材を活用した体験的な学習を実施 (参加児童数:8,373人)			
5	小学生国際理解推進事業	小中学校課	A	B
	各小学校に英語指導助手を派遣(5・6年生を対象に1クラスあたり年間18時間)			
6	中学校地域体験型学習事業	小中学校課	B	C
	地域の風土・資源・伝統・人材を活用した体験的な学習を実施 (参加生徒数:2,890人)			
7	中学生国際理解推進事業	小中学校課	B	B
	各中学校に英語指導助手を派遣(1クラスあたり年間12時間)			
8	芸術文化推進事業	小中学校課	C	B
	花巻市中学校文化連盟事業補助			

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

・文部科学省では、平成27年3月に学校教育法施行規則を一部改正し、道徳の時間を「特別の教科 道徳」として位置付けた。小学校では平成30年から全面実施になることから現在移行措置期間となっているが、指導と評価のあり方についての情報が少ないことから、研修の機会を設定する必要がある。

(今後の方向性)

・「特別の教科 道徳」の指導と評価のあり方についての研修を、教育研究所事業の中に盛り込み、より充実した道徳授業が展開されるよう学校を支援したい。